

第2学年A・B組 社会科学学習指導案

指導者 TO 尾樽部圭介
指導者 TK 小林 博子

1 単元名 日本の諸地域 中部地方

2 単元の目標

- (1) 中部地方の産業の特色とそれに関連する気候や地形、交通、歴史的背景等を理解することができる。 《知識及び技能》
- (2) 中部地方の各地域において特色ある産業が発達している理由を、気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付けて多面的・多角的に考察し表現することができる。 《思考力、判断力、表現力等》
- (3) 持続可能な地域づくりの実現を視野に、中部地方の地域的特色を主体的に追究しようとしている。 《学びに向かう力、人間性等》

3 単元の学習到達目標

全国に比べ中部地方の工業生産額や農業生産額が高い理由を説明することができる。

4 生徒と単元

- (1) 生徒について (男子14名 女子9名 計23名)
自分の意見や考えを積極的に発言することができる生徒が多く、協力して学習課題を解決しようする姿がよく見られる。一方で、資料から読み取ったことを根拠にして考察したり、根拠に基づいて自分の意見や考えを説明したりすることを苦手としている生徒も見られる。また、社会的事象を一面的に捉えることに終始してしまうことがあり、自分と級友の意見を比較し共通点や相違点を見出したり、複数の社会的事象を関連付けて考察したりすることに課題が見られる。
本単元の学習の前には、九州地方、北海道地方、関東地方、東北地方を取り上げ、自然環境や交通・通信を中核とした考察に取り組んでいる。これらの地域の学習を通して、地域の自然環境に適応したり自然環境を生かしたりすることで産業が盛んになっていることや、交通・通信の発達が発達につながっていることを理解している。
- (2) 単元について
本単元は、学習指導要領地理的分野「C日本の様々な地域(3)日本の諸地域」の内容に基づいて構成したものである。本単元では、日本を7地方に区分して中部地方を取り上げ、中部地方の産業について、気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付け、産業が地域の気候や地形、交通、歴史的背景等と深い関係をもっていることについて考察を行う。
本単元で取り上げる中部地方は、気候や地形などの自然環境によって、東海、中央高地、北陸の3つの地域に分けられる。3つの地域では、各地域の自然条件や社会的条件を生かすことで特色ある産業が発達しており、地域の産業の特色と気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付けて考察しやすい地域である。また、工業生産額は7地方の中で最も高く、愛知県の自動車工業(トヨタ自動車)や長野県の電気機械工業(セイコーエプソン)、福井県の眼鏡フレーム加工(国内生産量の約90%)など、秋田県で生活する生徒たちと関わりがある企業も多い。農業生産額も全国的に見て高く、東海の施設園芸農業や茶、中央高地の果樹栽培や高原野菜、北陸の稲作等、地域の特色を生かした農業が多く見られる。
- (3) 指導について
本単元の指導にあたっては、中部地方の産業の特色を気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付けて考察し説明することができるように、単元を三段階(つかむ・追究する・まとめる)で構成し、本校の研究主題「ICTを活用した『主体的で対話的で深い学び』につながる授業づくり」を踏まえ、各段階でICTや思考ツールを活用しながら、社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究する学習を行う。
つかむ段階では、中部地方の産業の特色を追究する学習課題を設定し、自分達が立てた予想をもとにして課題解決の見通しをもたせる。ここでは、調べる地域の産業と関連する事象を整理させた「調査カード」を電子黒板に提示し、互いの見通しを共有できるようにする。
追究する段階では、単元の学習課題の解決に向けて、東海、中央高地、北陸の産業の特色を気候や地形、交通、歴史的背景等と関連付けて考察する活動を行う。ここでは、タブレット端末等を利用して資料を読み取ったり自分の考えを説明したりしながら意見交流を行い、思考ツールを使って情報を比較したり関連付けたりすることができるようにする。
まとめる段階では、中部地方の産業の特色について、これまでの学習で考察したことや思考ツールにまとめた情報を使って、自分の言葉で表現することができるようにする。

5 単元の指導と評価の計画 (総時数5時間 本時 4/5)

	次	時	学習活動	具体的評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の学習課題 「全国的に見て中部地方の工業生産額や農業生産額が高い理由は何だろうか」	一	1・2	<ul style="list-style-type: none"> 東海、中央高地、北陸の各地域の産業に関する資料や地図を読み取り、全国的に見て中部地方の工業生産額や農業生産額が共に高いことや各地域で特色ある産業が発達していることを捉える。 中部地方の産業の特色から単元の学習課題を設定し、既習事項や各地域の産業の特色から単元の学習課題に対する予想を立て、課題解決の見通しをもつ。 	○各地域の産業に関する資料や地図から、全国的に見て中部地方の工業生産額や農業生産額が共に高いことや各地域で特色ある産業が発達していることを理解している。		
	二	3	<ul style="list-style-type: none"> 資料や地図を読み取り、各地域の気候や地形、交通、歴史的背景等の特色をつかむ。 中部地方の気候や地形、交通、歴史的背景等の特色を基に、生産者の視点から、各地域で特色ある産業が発達した理由を考察する。 	○資料や地図から各地域の気候や地形、交通、歴史的背景等の特色を理解している。	○中部地方の気候や地形、交通、歴史的背景等の特色を基に、生産者の視点から自分が調べた地域で特色ある産業が発達した理由を考察している。	
		4	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の産業について考察したことを交え、各地域の産業の特色と中部地方の気候や地形、交通、歴史的背景等に関連付けながら、各地域で特色ある産業が発達した理由をまとめる。 		○各地域の産業の特色と中部地方の気候や地形、交通、歴史的背景等に関連付けながら、自分が調べた地域で特色ある産業が発達した理由を自分の言葉でまとめている。	
	三	5	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の特色ある産業を比較したり、関連付けたりすることで、中部地方の産業の特色を捉え、中部地方の工業生産額や農業生産額が共に高い理由をまとめる。 これまで学習したことを振り返り、自分が暮らす地域の在り方を考える。 		○各地域の特色ある産業を比較したり、関連付けたりして、中部地方の工業生産額や農業生産額が共に高い理由を考察し、自分の言葉でまとめている。	○これまで学習したことと自分たちが暮らす地域の特色を結び付けながら、自分が暮らす地域の在り方について考えようとしている。

6 本時の計画（4/5）

(1) ねらい

各地域で特色ある産業が発達した理由について、各地域の産業と気候や地形、交通、歴史的背景等を関連付けながら多面的に考察し、自分の言葉でまとめることができる。 《思考・判断・表現》

(2) 学習過程

	学習活動 学習課題 まとめ	ICT	学習形態	指導上の留意点と評価 評価
導入	1 東海、中央高地、北陸の産業を示した地図や産業の様子が分かる景観写真から、各地域でそれぞれ特色ある産業が発達していることを振り返り、本時の学習課題を確認する。	電子黒板	全体	
	各地域で特色ある産業が発達した理由は何だろうか。			
展開	2 前時の学習を振り返り、自分が調べた地域と関連する事象の資料、学習課題に対する考えを確認し、本時の活動の見通しをもつ。	オクリンク 電子黒板	個	<ul style="list-style-type: none"> 前時で各自が整理した調査カードを電子黒板に提示する。
	3 同じ地域を調べた他者と意見交流を行い、意見交流で得た情報を基にして、異なる地理的事象を調べたり、複数の情報を関連付けたりする。	タブレット オクリンク 電子黒板	グループ ↓ 個	<ul style="list-style-type: none"> 意見交流しやすいように、電子黒板に提示された他者の調査カードを基にして活動させる。 意見交流の際に資料から読み取った事実を根拠に自分の考えを主張できるように、前時で考察に使った学習シートや自分が活用した資料、タブレット端末等を活用して説明させる。 意見交流した内容を分類したり集約したりしやすいように、Xチャートやコアマトリックス等の思考ツールを活用させる。
終末	4 意見交流で得た情報を基にして考えたことを発表し合い、各地域の産業の特色を様々な側面から捉える。	タブレット オクリンク 電子黒板	全体	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の産業の特色を多面的に捉えることができるように意図的な指名を行う。 発表する内容が分かりやすいように、タブレットPCと電子黒板を使って発表させる。
	5 意見交流をしてまとめた情報を基に、学習課題に対する自分の考えをまとめる。	(例) 東海は、広い平野を有しているため自動車関連工場をたくさん建設することができ、それらの自動車関連工場と港が高速道路等の交通網で結び付いているため輸出しやすいから自動車工業が発達した。	個	<ul style="list-style-type: none"> 意見交流したことを踏まえ、自分が調べた地域の産業と気候や地形、交通、歴史的背景等を関連付けながら自分の考えをまとめるように指示する。 文章でまとめることが苦手な生徒には、短文やキーワードでまとめるようにアドバイスする。
6 次時の学習に向けて、意見交流を通して気付いたことや感じたことを発表する。	全体		各地域の産業の特色と中部地方の気候や地形、交通、歴史的背景等を関連付けながら、自分が調べた地域で特色ある産業が発達した理由を自分の言葉でまとめている。(ノート)	

協議の視点

- 各場面におけるICTの活用は、主体的で対話的な深い学びにつながっていたか。
- 個人で考察したことを基に意見交流を行う活動は、多面的に考察することにつながっていたか。